

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	サイバーナイフを用いた前立腺定位照射における治療スケジュールおよび蓄尿による尿路痛有害事象の低減の検討
研究責任者	看護部 中村みどり
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 3 月末
対象者	2021年5月から2023年12月の間に聖隷浜松病院放射線治療室において前立腺癌でサイバーナイフを用いた定位放射線治療を完遂した患者さんで照射終了後も継続して体調を自己記録した経過が記録されている105名の患者さん
研究の意義・目的	当院では2021年からCyberKnife®(以降サイバーナイフ)を用いた前立腺定位照射を実施しています。初期経験の報告では、急性期有害事象である肛門痛については全例ハイドロゲルスプレーサーを留置しており、従来の通常分割照射と比較し肛門痛は有意に減少していました。当院では連日照射を行っていますが週末を挟むと急性期有害事象の症状が軽減する患者にまれに遭遇することがあります。そこで急性期有害事象の1つである尿路痛を評価項目として分析し、有害事象低減のための方法の確立を目指します。
研究の方法	診療録から①治療時年齢②NCCN リスク分類③前立腺肥大の有無と前立腺肥大治療薬内服の有無④治療時の蓄尿の有無⑤治療スケジュール(連日 5 日間または土日を挟んでいたか)を調査します。治療開始から 40 日間の尿路痛の有無と程度(CTCAE v5.0)に対して前記した 5 項目について分析します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 外来看護課 (氏名)中村みどり TEL:053-474-2222(代表) 腫瘍放射線科外来 9:00～17:00 平日